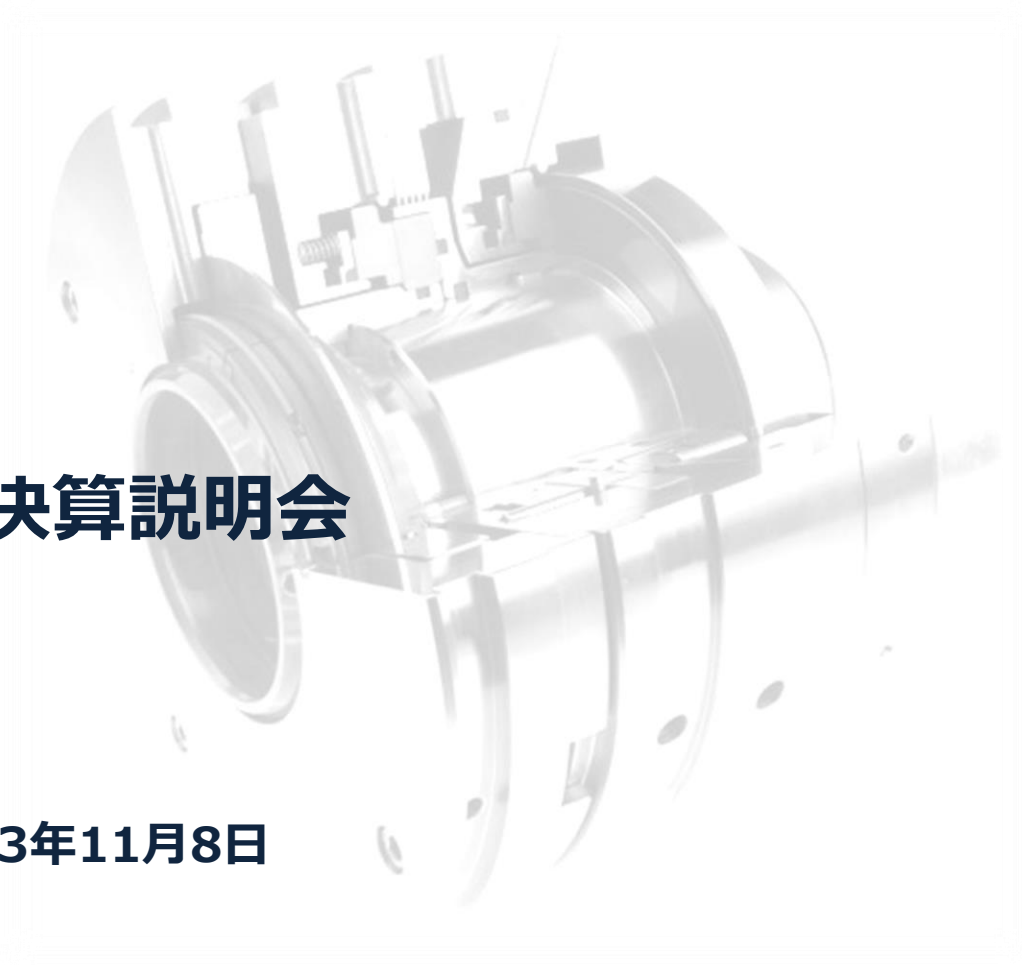


イーグル工業株式会社 2024年3月期 | 第2四半期決算説明会

2023年11月8日



1. 24年3月期第2四半期累計決算の概要
2. 24年3月期の業績予想
3. 各セグメントの事業動向

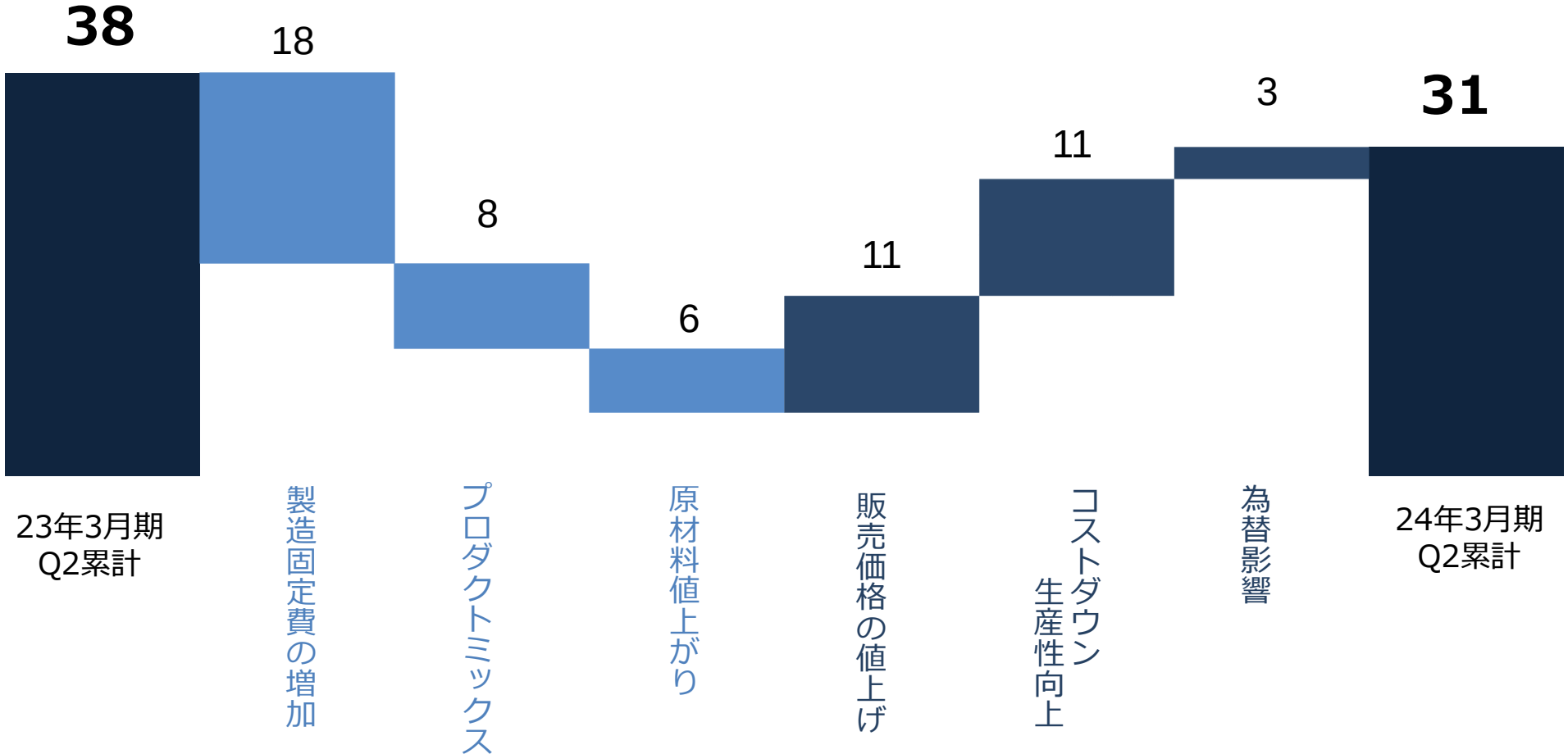
24年3月期Q2平均実勢為替レート

1ドル=141.1円 1ユーロ=153.5円

単位：億円

	23年3月期Q2 実績	24年3月期Q2 実績	前年同期対比	
売上高	763	821	58	108%
営業利益	38	31	▲7	82%
経常利益	63	69	7	110%
親会社純利益	35	43	8	122%

単位：億円



単位：億円

		23年3月期 Q2累計実績	24年3月期 Q2累計実績	増減	前年同期 対比
自動車・建設機械	売上高	423	443	20	105%
	営業利益	11	▲1	▲12	—
一般産業機械	売上高	157	182	25	116%
	営業利益	8	8	1	111%
半導体	売上高	78	85	7	109%
	営業利益	5	5	▲0	99%
船用	売上高	65	73	8	112%
	営業利益	15	16	1	104%
航空宇宙	売上高	39	38	▲1	98%
	営業利益	▲0	4	4	—
合 計	売上高	763	821	58	108%
	営業利益	38	31	▲7	82%

1. 24年3月期第2四半期累計決算の概要
2. 24年3月期の業績予想
3. 各セグメントの事業動向

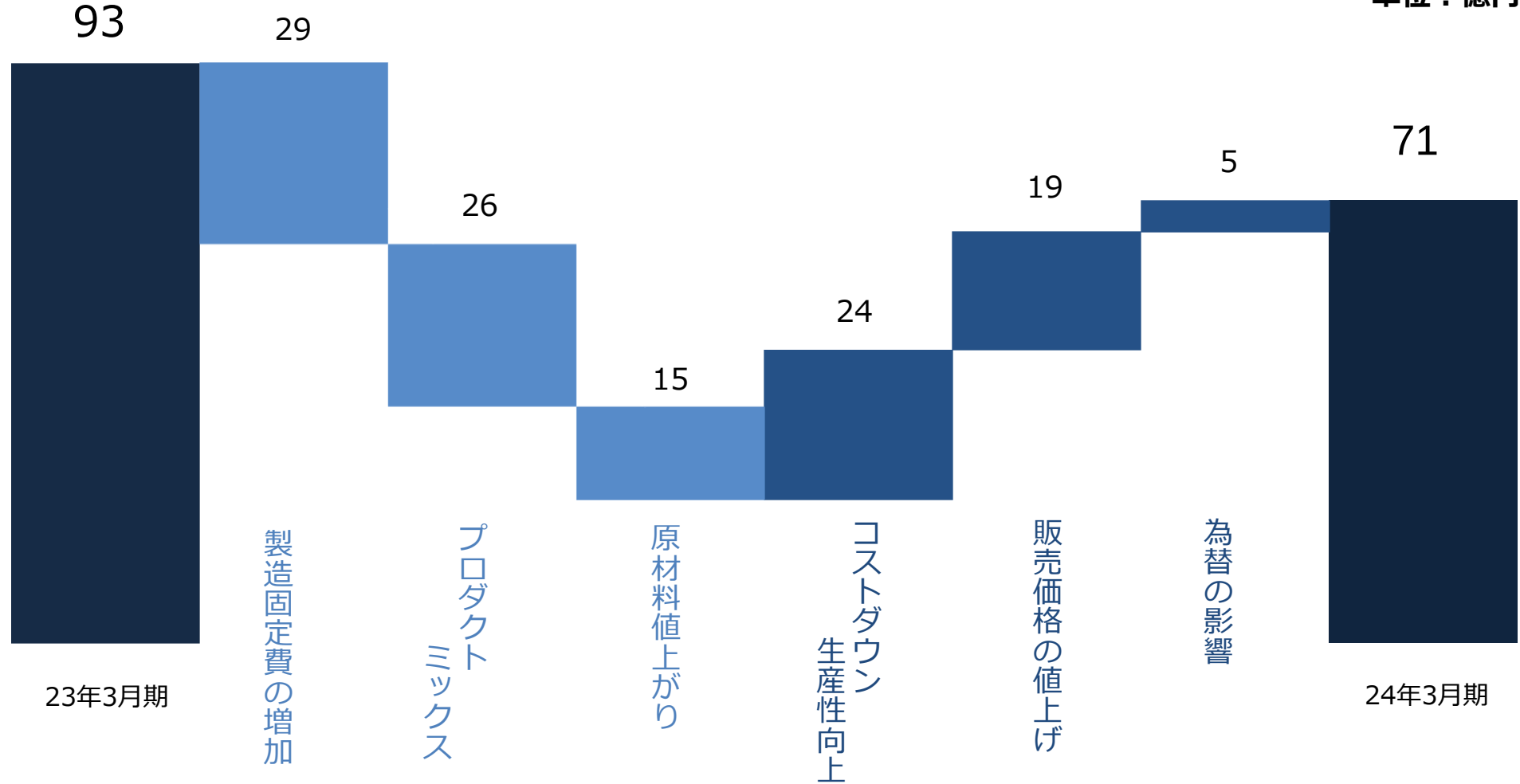
(24年3月期業績予想前提レート)

1ドル = 141.1円 1ユーロ = 153.5円

単位：億円

	23年3月期 実績	24年3月期 業績予想	前年対比	
			増減	前期対比
売上高	1,574	1,660	86	105%
営業利益	93	71	▲22	77%
経常利益	123	120	▲3	98%
親会社純利益	68	68	0	100%

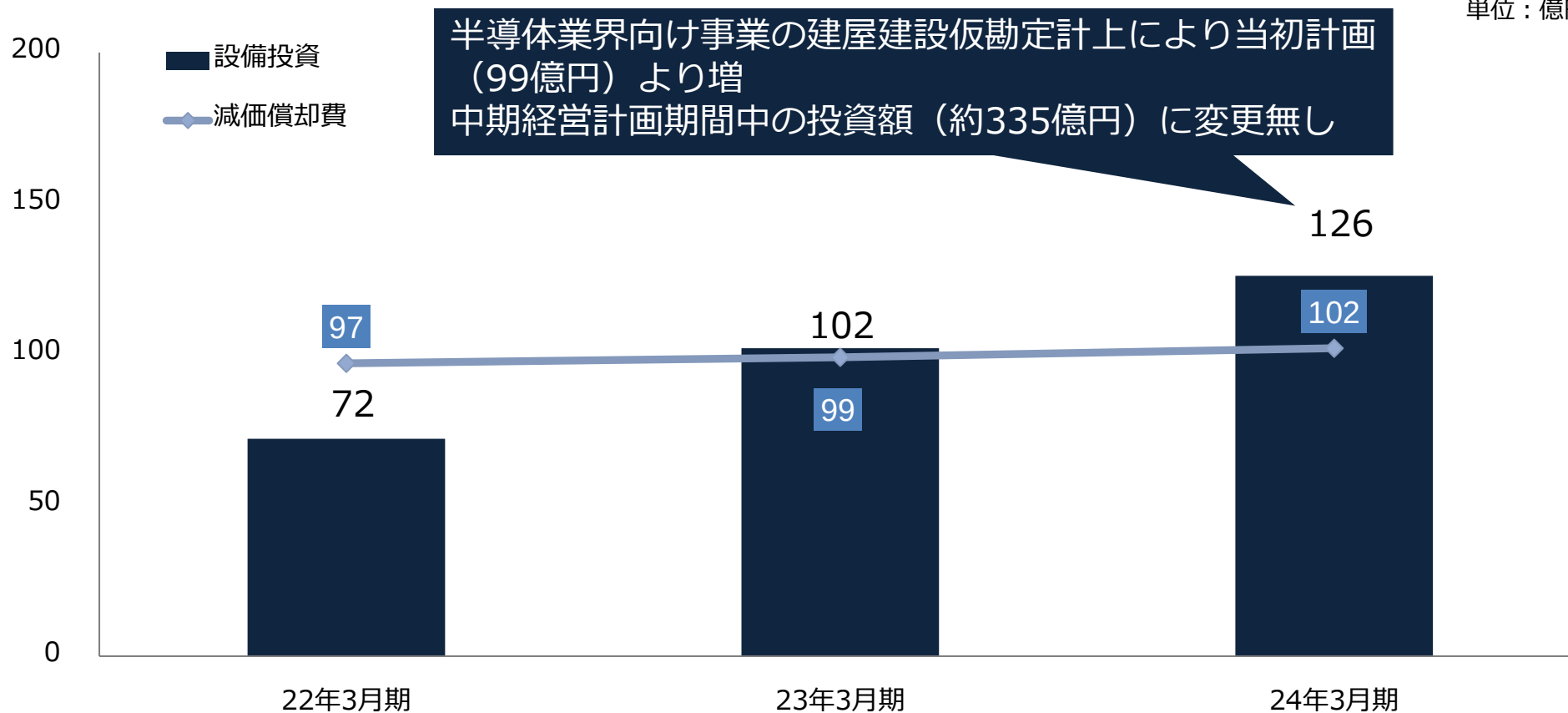
単位：億円



単位：億円

		23年3月期 実績	24年3月期 業績予想	増減	前期対比
自動車・建設機械	売上高	849	899	50	106%
	営業利益	14	5	▲9	37%
一般産業機械	売上高	338	373	35	110%
	営業利益	28	30	2	106%
半導体	売上高	167	170	3	102%
	営業利益	16	1	▲15	6%
船用	売上高	136	144	8	106%
	営業利益	33	29	▲4	87%
航空宇宙	売上高	84	74	▲10	88%
	営業利益	1	6	5	426%
合 計	売上高	1,574	1,660	86	105%
	営業利益	93	71	▲22	77%

単位：億円



	23年3月期	24年3月期 (見通し)	中期経営計画期間中 (24年3月期～26年3月期) の目標
ROIC (%)	4.5	3.3	6%
ROE (%)	6.8	6.4	9%
ROA (%)	3.6	3.4	5%
配当金 (円)	70	70	年間70円継続
自己資本比率 (%)	54.0	53.6	50%以上

中期経営計画期間中の株主還元（総額180億円を目安）

- ・ 配当：今期中間配当は35円で決定（方針：DOE2.5%以上、年間70円）
- ・ 自己株式の取得状況（23年10月末時点）：2,464千株（取得枠：3,000千株）

中長期的にはROE10%の達成を果たし、PBRの改善を図る

2023年度 Materiality (重要課題)

E 環境マネジメント

品質の確保

人間尊重に基づく人事施策

S 社会貢献活動

労働安全衛生

サプライチェーンマネジメント

G コーポレートガバナンス

リスクマネジメント

情報セキュリティ

23年度のサステナビリティの主な活動

ESG情報開示の拡充及びESGスコア（FTSE）の向上継続
 2022年 2.3 → 2023年 2.9 「2025年 3.2以上を目標」



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2022年4月よりFTSE Blossom Japan Sector
Relative Indexに選出

気候変動対策

・カーボンニュートラル目標(2030年CO2排出量18年対比で国内50%減)

2023年度上期実績：2018年度対比▲38%減

・CDPスコア

2022年 C 「2025年 B以上を目標」

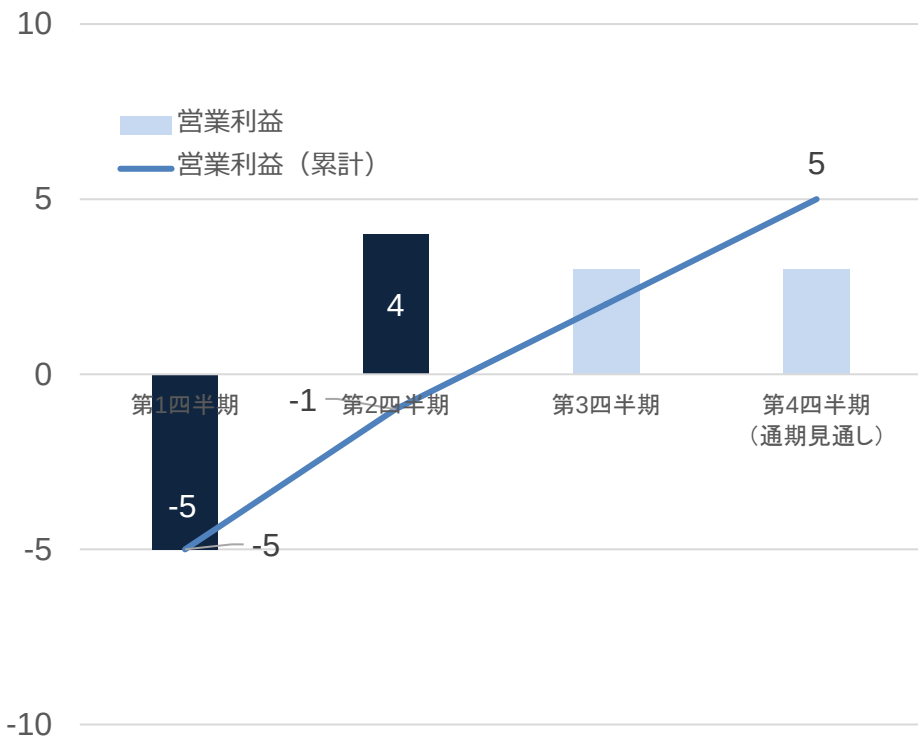
取引先等へのSAQ監査・人権デューデリジェンス実施結果を本年度より開示

国連グローバルコンパクトへの署名検討

企業の成長と持続可能な社会実現の両立を目指して活動を継続

1. 24年3月期第2四半期累計決算の概要
2. 24年3月期の業績予想
3. 各セグメントの事業動向

24年3月期 | 四半期別 営業利益見通し

営業利益
(億円)

- ・ 第2四半期（7-9月累計）は、販売価格改訂の効果もあり営業利益黒字化
- ・ 下期以降は製品価格改訂の効果継続ならびに販売回復に伴い営業利益（累計）は第3四半期に黒字化見通し

収益性改善に向けた課題・実施事項

課題	実施事項
ICE減への対策	・ 新製品拡販（EV向製品等）
固定費増加	・ 継続したコスト削減 ・ グループ内生産体制見直し

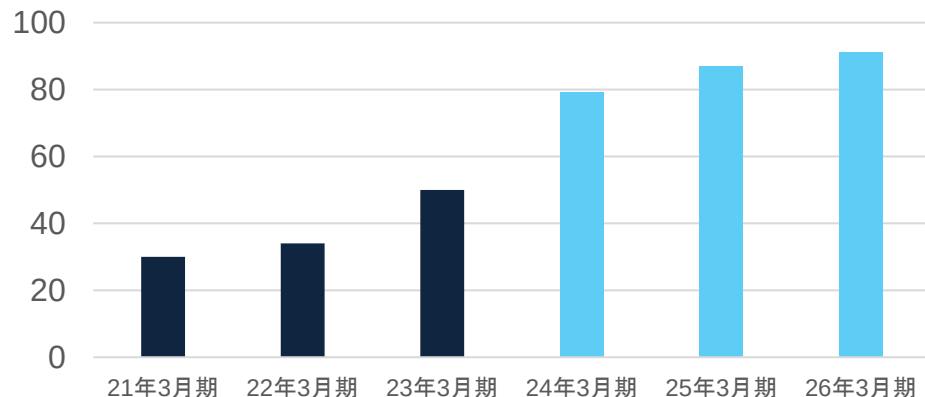
●CES | サスペンション向けバルブ



- ・サスペンション向け油圧制御用ソレノイドバルブ
- ・車両姿勢安定・乗り心地向上に貢献
- ・今後3年間で販売拡大見通し

(単位：億円)

CES 販売 実績・見通し



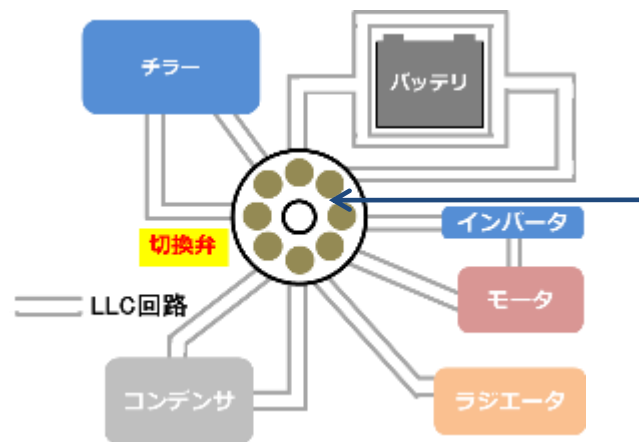
●Glidex | 駆動モーター/減速機用



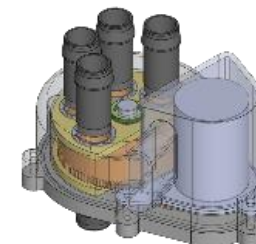
2030年売上高目標

50億円

●サーマルマネジメントシステム (LLC回路)



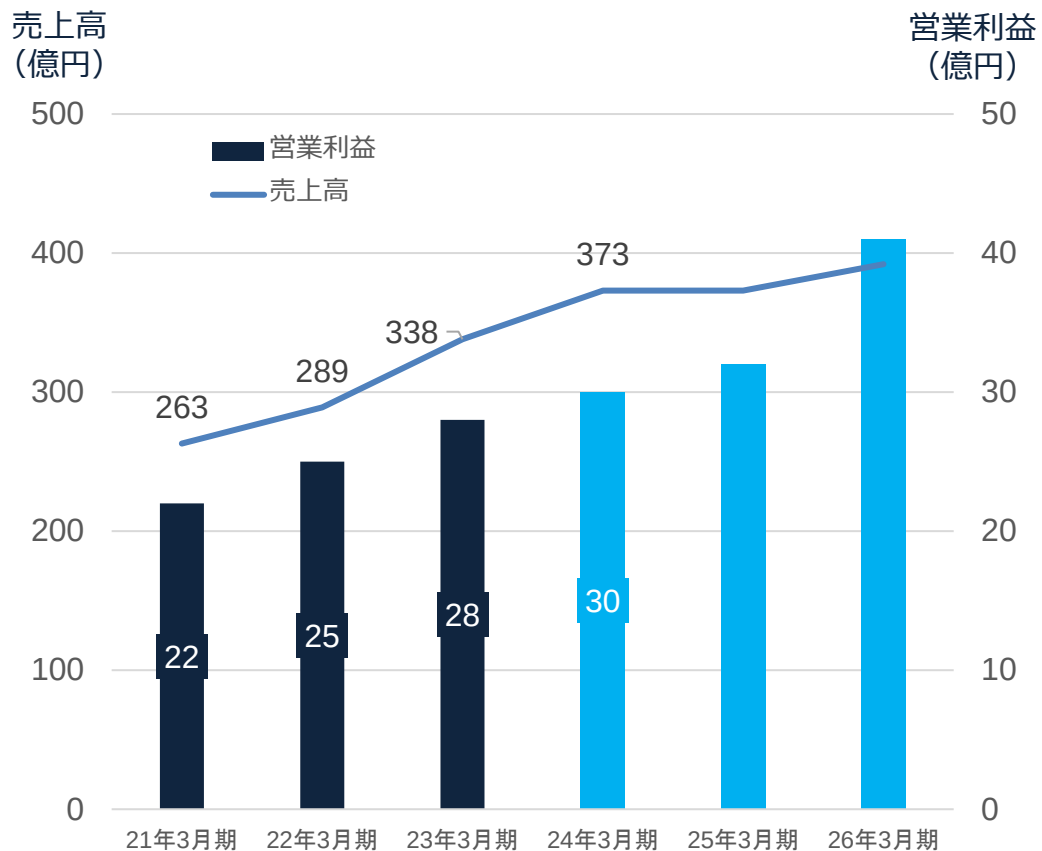
LLC流路切替弁



2030年売上高目標

80億円

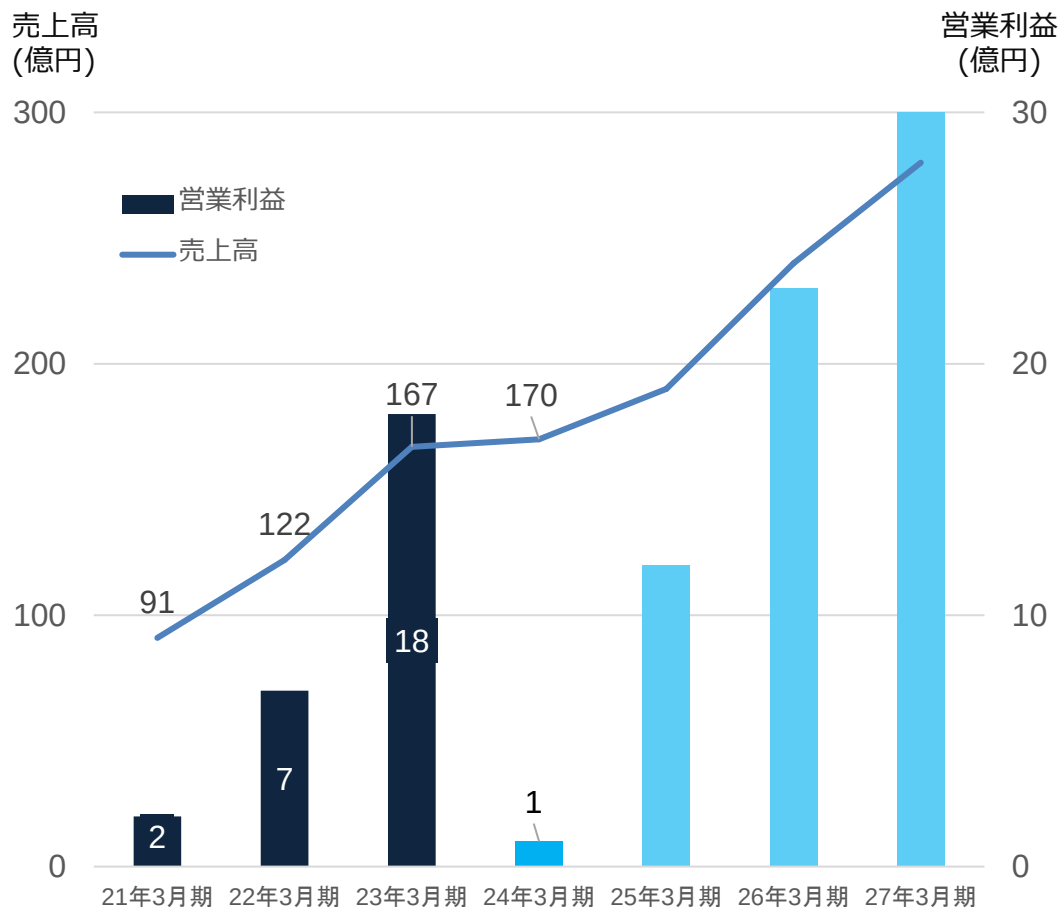
一般産業機械業界向け事業 | 売上高・利益推移見通し



一般産業機械業界向け事業のビジネスモデル



半導体業界向け事業 | 売上高・利益推移見通し



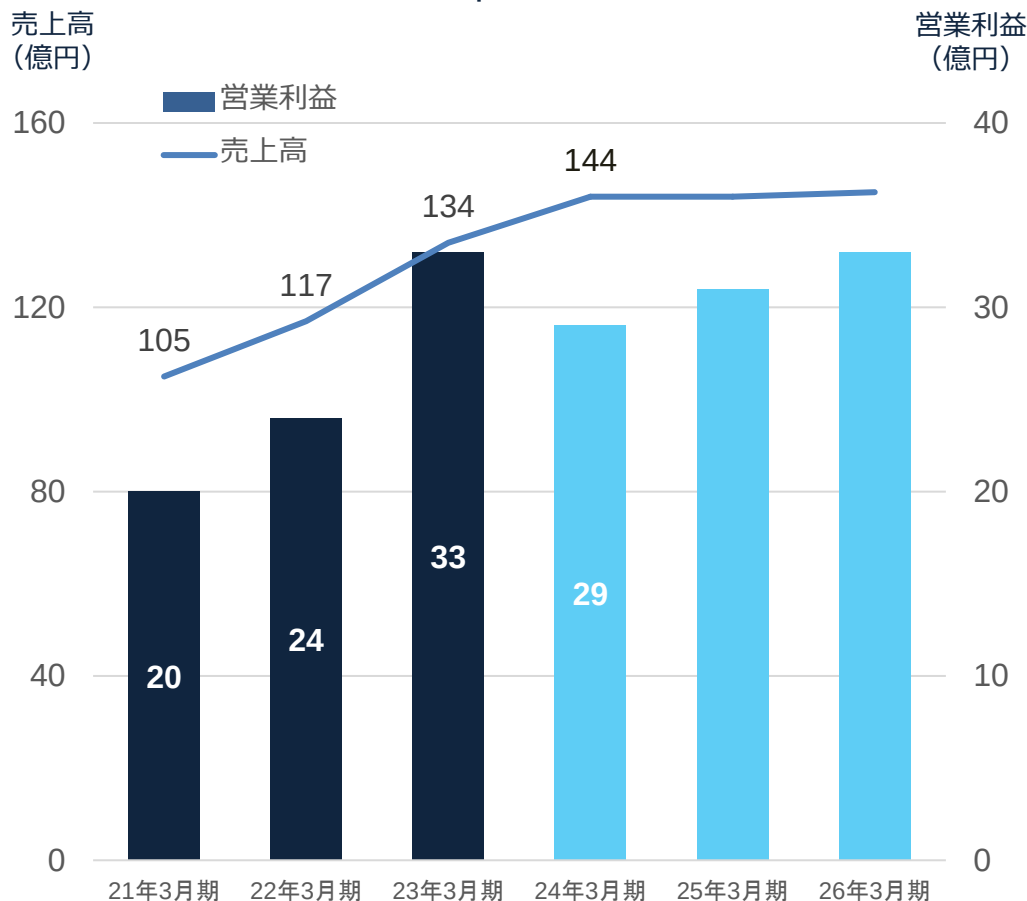
- ・ 24年3月期は下期に半導体不況の影響を大きく受け、営業利益は前期比で大幅減
- ・ 来期以降は業界も回復期に入り、収益は回復見通し・地政学リスク拡大による事業への影響を引き続き注視し生産・販売拡大を継続

つくば事業場の建屋建設状況



つくば事業場 新棟 2024年7月完成・稼働開始予定

船用業界向け事業 | 売上高・利益推移見通し



- ・ 24年3月期は前期比大幅減の見通しだったものの、中国の新造船需要の増加と欧州向け修繕需要が継続し、売上・利益ともに当初計画（売上高126億円・営業利益13億円）を上回る見通し
- ・ 25年3月期以降も新造船向け製品の受注は堅調に推移

船尾管軸受



油潤滑船尾管シール

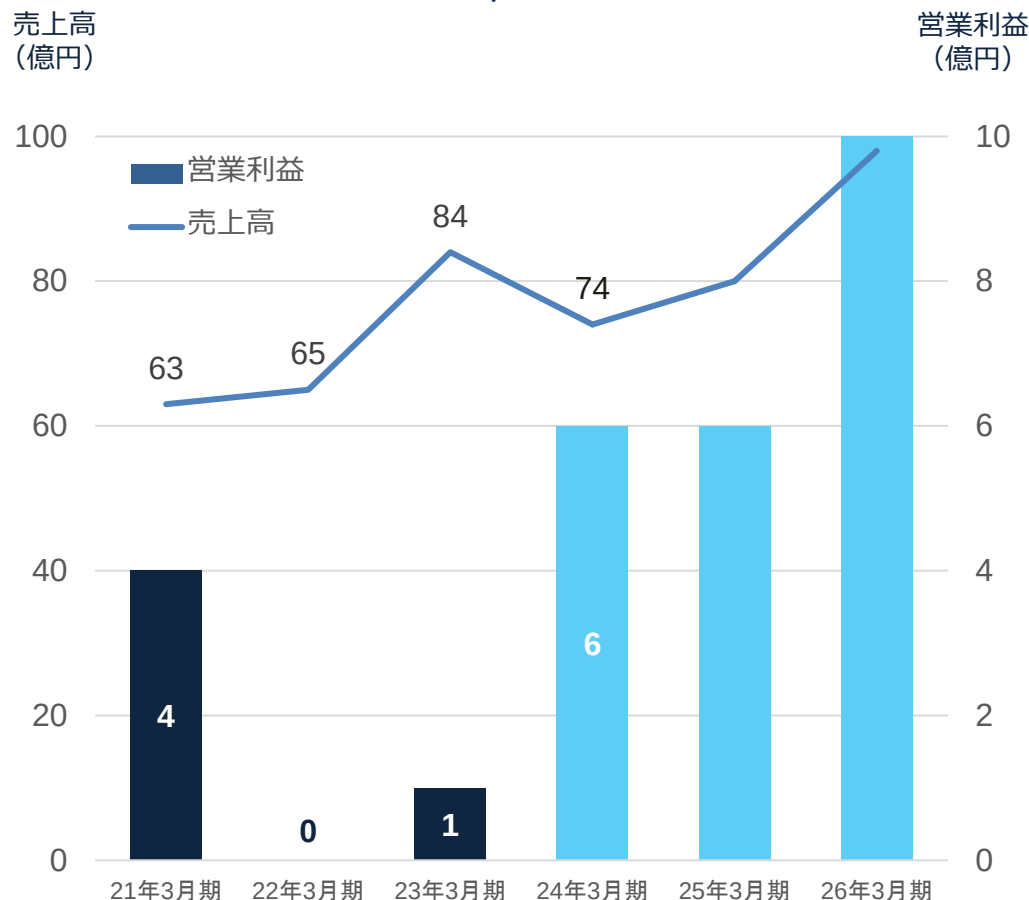


船尾管軸・プロペラ



- ・ 中大型船船尾管シールのグローバルでトップシェア
- ・ 新造船納入後アフターサービスにて収益確保

航空宇宙業界向け事業 | 売上高・利益推移見通し



航空機エンジン

民間航空機向け市場

- 中小型機を中心に、エンジン用製品の需要が回復
- 欧州の将来エンジン開発に参画



防衛エンジン関連

- 防衛関連アイテムの増産要求に追従
- 次期戦闘機エンジンへの採用に向けて活動中



次期戦闘機イメージ

出典：防衛省ホームページ

パリエアショー2023出展

- 2023年6月19日～22日
- フランス パリ ル・ブルジェ空港にて開催されたエアショーに出展



宇宙開発プロジェクト

基幹/小型ロケット



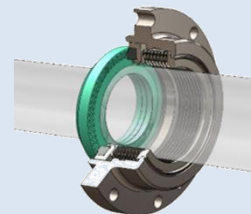
- H-IIAロケット : 9/7打上げ
- H-3プロジェクトにも継続参加
- 民間ロケット会社のターボポンプ開発に参画



メカニカルシール
各種シール・バルブ類

次世代再使用ロケット

- 国内外の研究機関と共同研究
 - ・ 当社の表面テクスチャリング技術によって、再使用ロケット用ターボポンプシールに要求される高い耐久性と安定性を実現
- 安全性向上・コスト削減への寄与
 - ・ 液体水素・液体酸素・液化メタン等の極低温流体におけるそれぞれの作動特性を考慮した技術によって摩擦を抑制し、シールの耐久性を大幅に向上させることで、再使用ロケットの安全性とコスト削減を図る



再使用ロケット向けターボポンプシール



